

2022年7月 吉日

電気工事業者各位

テンパール工業株式会社

感震機能付住宅用分電盤（単相2線式・横一列タイプ）の従来品と
対策品の絶縁測定・電気工事の際の注意点【お願い】

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立て、ご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、標題の住宅用分電盤において、従来品と対策品の絶縁測定や電気工事をされる際の注意点を、下記のとおりご連絡いたします。対象の住宅用分電盤が設置してある住宅等で点検・工事をされる際はご注意ください。

お手数をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



敬具

記

1. 対象器種

パールテクト 感震機能付住宅用分電盤（単相2線式・横一列タイプ）



【対象型式】

リミッタースペースなし	リミッタースペース付き
YAG23031SES2B	YALG23022SES2B
YAG23051SES2B	YALG23042SES2B
	

※従来品と対策品の品番変更は行いません。

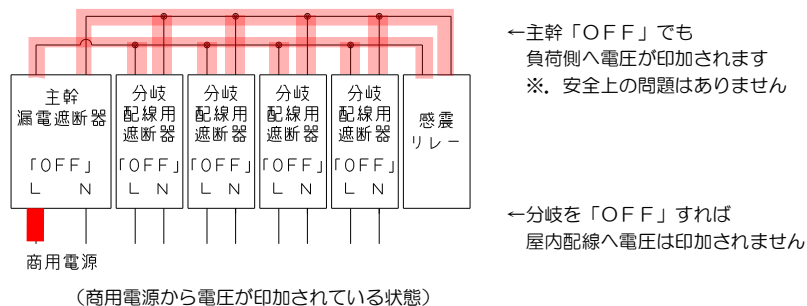
【従来品と対策品の見分け方】

下記のとおり、製造ロットで区別してください。

従来品	対策品
主幹漏電遮断器(GB-2EC)	主幹漏電遮断器(GB-2EC)
	
製造ロット 2112L 以前	製造ロット 2112M 以降

2. 概要

従来品は、主幹漏電遮断器を「OFF」（トリップ含む）した状態でも、主幹漏電遮断器の負荷側や住宅用分電盤の母線へ電圧が印加されています。ただし、高抵抗を介した電圧であり、仮に地絡（感電含む）した場合でも最大で0.5mA以下の電流しか流れないため、人体が知覚する可能性は低く、火災や感電を含め、安全上の問題はございません。



★対策品は、主幹漏電遮断器 GB-2EC の仕様変更を行い、OFFにした時には電源側-負荷側に電圧が出ないようにしました。

3. 注意点

絶縁測定の際は、以下のとおり測定をおこなってください。主幹漏電遮断器のみOFFにした状態で測定すると、ご使用の絶縁抵抗計に誤った測定値や活線警告などが表示されることがあります。

また、主幹漏電遮断器を「OFF」した状態でも住宅用分電盤の負荷側回路で検電器が反応しますので、分岐配線用遮断器を「OFF」にしてから検電してください。

①住宅用分電盤の負荷側回路（屋内配線）の絶縁測定をおこなう場合

【従来品、対策品】

- 主幹漏電遮断器を「OFF」・分岐配線用遮断器を「全てOFF」
- 各分岐回路の負荷側 と 電源側N相（接地相）またはアース端子 で絶縁測定

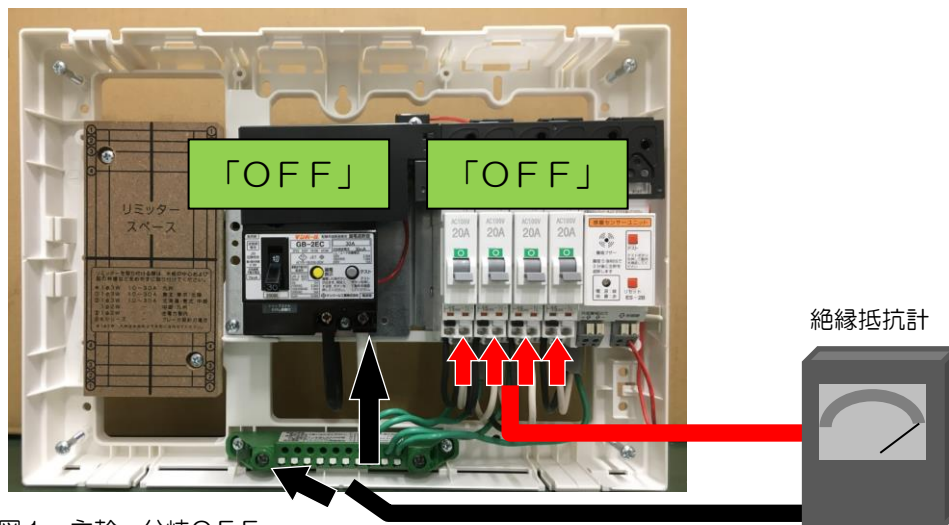


図1. 主幹・分岐OFF

②住宅用分電盤（本体）の絶縁測定をおこなう場合

【従来品】

- 主幹漏電遮断器を「OFF」・分岐配線用遮断器を「全てOFF」
- 漏電リレーを取り外す（赤色リード線は取り外さない）
- 主幹漏電遮断器の負荷側 と 電源側N相（接地相）またはアース端子 で絶縁測定

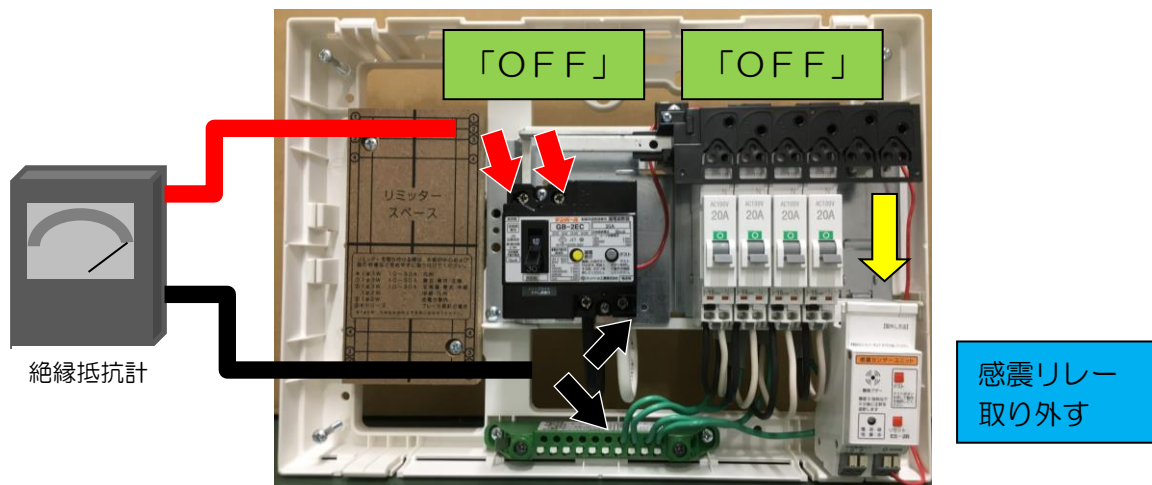


図2-1. 主幹・分岐OFF・感震リレー取り外し

【対策品】

- 主幹漏電遮断器を「OFF」・分岐配線用遮断器を「全てOFF」
- 主幹漏電遮断器の負荷側 と 電源側N相（接地相）またはアース端子 で絶縁測定

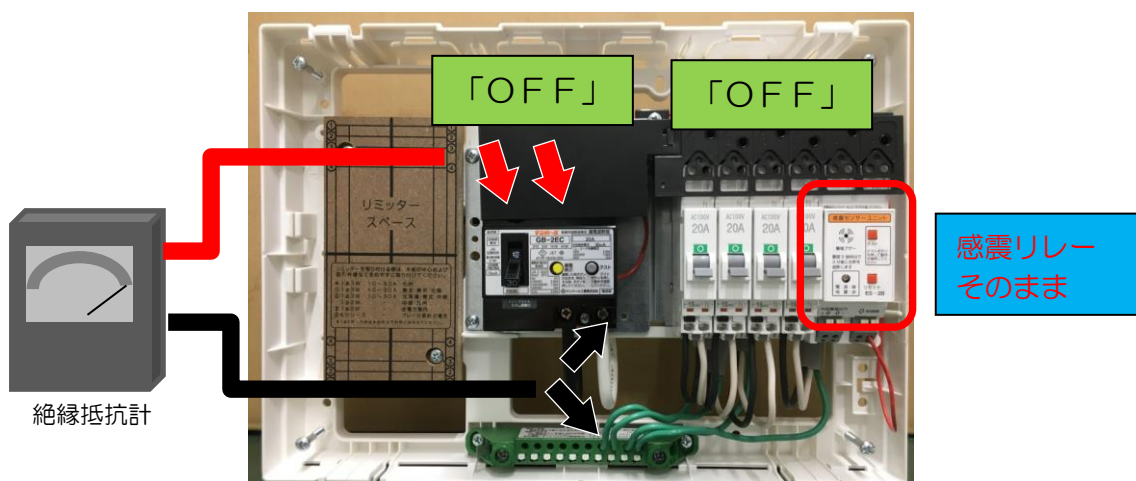


図2-2. 主幹・分岐OFF・感震リレーそのまま

以上